

MRI 検査を受ける患者さんへ

MRI検査とは？

MRI は非常に強い磁石を利用した検査です。放射線を利用しないので放射線被ばくはありません。検査中は大きな機械音を発生するため、耳栓やヘッドフォンなどで防音対策を行います。非常に動きに弱い特徴があるため、最低限の身体の固定を行います。検査目的や部位により検査時間は異なり、息を止めての検査や必要な場合は造影剤を使用します。なお検査中は連絡ブザーをお渡ししますので、安心して検査をお受けください。

MRI 検査は特殊な環境下(強い磁場)で行う検査です。以下の注意事項を十分ご確認ください。

検査室は常に強い磁場が発生しています。患者さんによっては検査を受けることができない場合もあります。磁石に引き付けられたり、破損のおそれがあるもの、画像に影響のあるものは、持ち込めません。検査前にスタッフがチェックし取り外して頂きます。安全のために検査着に着替えて行いますので、できる限り着替えやすい服装でお越しください。



補聴器



アクセサリ



時計



磁気カード



携帯電話



安全ピン

● 下記の方は 検査を受けることができません。(MRI 検査禁忌)

- MRI 非対応心臓ペースメーカー・埋め込み型除細動器を使用している
- 人工内耳や神経刺激装置などの体内電子装置を使用している
- 可動型義眼(マグネット式)を装着している
- 血管へのステント留置術を4週間以内に受けた
- 妊娠 16 週未満



ペースメーカー



人工内耳



妊娠初期

● 下記の方は検査を受けることができない場合があります。

- 人工心臓弁を入れている(1970年以前のはMRI 非対応)
- 古い脳動脈クリップを入れている(過去に死亡例が報告されています。必ず確認してください)
- 消化管出血クリップやマーキングクリップを体内に留置している
- 胃管チューブを留置している
- 避妊リング IUD を挿入されている(銅使用のものはMRI 非対応)
- ステントグラフトを入れている(2007年以前のはMRI 非対応)
- 閉所恐怖症

● 刺青や化粧品(アイシャドーやアイラインなど)の中には金属成分を含んでいるものがあり、検査中に熱を発生する恐れがあります。検査当日の化粧は控えめにお願いします。

● 救急患者や前の検査が延長した場合には、検査開始時刻が多少遅れることがあります。ご了承ください。

検査当日の食事制限・水分制限について

	上腹部・MRCP・骨盤部	その他の部位
食事 水分(水・白湯)	4時間前より絶食 2時間前より絶食	制限なし